

体ものさしでいろいろなものの長さをはかろう

単 元	100 cmをこえる長さ	対象学年	2 年
ね ら い	身のまわりにある1 mをこえるものの長さを見当づけてから測ることができる。		

1 準備するもの

教師： 1 mものさし， 紙テープ

児童： 教科書， ものさし， 紙テープ

2 学習のしかた

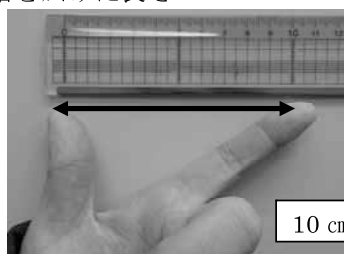
- (1) 100 cmをこえる長さについて，教科書に沿って学習する。
- (2) 1 mをものさしではかり，紙テープの1 mものさしをつくる。
- (3) 2人組になって，紙テープの1 mものさしを体に当てながら，自分の体の部分で1 mをさがす。紙テープがなくても1 mの長さがわかるようにする。

同様に，1学期に学習した10 cmについても，自分の体から見つける。

自分の体から見つけた1 mと10 cmを「(1 mの・10 cmの) 体ものさし」と呼ぶことにした。

* 1 m・・・両腕を広げた長さ

* 10 cm・・・親指と人差し指を広げた長さ



1 mや10 cmの体ものさしと同様に，30 cmや50 cmの体ものさしも見つけることができる。

* 30 cm・・・ひじから指先の長さ

* 50 cm・・・肩から指先の長さ

- (4) 2人組になって教師の身長などを，体ものさしを使って予想し，実際の長さをものさしを使って測る。

ワークシートに，長さの予想とその根拠（1 mの体ものさしと，10 cmの体ものさしが5個だから1 m 50 cmくらいなど）を記入してから長さを測る。

- (5) 4人組になって教室の横の長さを，体ものさしを使って予想し，実際の長さをものさしを使って測る。

ワークシートに，長さの予想とその根拠（1 mの体ものさしが○個分だから○m）を記入してから，実際の長さを測る。